

2024年度（令和 6年度）

明治薬科大学ファカルティ・ディベロップメント活動報告書

明治薬科大学 FD 委員会

目次

1. はじめに
2. 2024 年度 新任教員 講義ビデオ閲覧による自己評価
3. 2024 年度 FD 研修会
4. 学生による授業アンケートで評価の高い教員の選出
5. 新任教員講義ビデオ閲覧によるピアレビュー(全教員対象)
6. 2024 年度シラバス研修会

はじめに

今年度も、昨年同様に新型コロナウイルスの流行の減少にともない、学内での対面講義がメインになった。教員にとっては対面講義の重要性は再確認できたが、一方でオンデマンド講義の有用性やハイブリッドでの講義、また新型コロナウイルスの流行に伴い導入した様々な機器の運用が可能となり、学生にとって有効な講義形式をそれぞれの講義で活用、運用できる体制へと徐々に移行しつつある。また、近年入学してくる学生の多くはコロナ禍でのオンデマンド配信などの有用性を確認したことで、そのような講義形式を求める学生が多くなってきたことも事実である。

心身ともに成長期にある学生にとって、どの講義形式が最良かは個別事案になることだが、対面講義を収録し、後に講義を再確認できることは多くの学生にとって有益になるものと想像される。一方で、昨年度より本格的に運用された薬学科の学生増に伴い、講義数が増えた教員には多大なる負担がかかっていることが想像される。しかしながら、本学の教員の不断の努力や、これまで多くのFD活動により得てきた様々な取り組みなどにより、学生評価も落ち込むことなく実施されたと思っている。

これまでと同様であるが、明治薬科大学では、教育内容・方法の改善を目的としたFD活動の一環として、学生による授業アンケート評価、教員による相互評価(ピアレビュー)および教育方法改善のための講演会を継続して実施してきたが、今年度も、Cbox(講義収録/動画コンテンツ作成システム)およびMY-CAST (moodle) を利用した講義収録ビデオを用い自己評価、新任教員を主な対象として実施しなかった。さらに、収録ビデオ閲覧による同僚評価(ピアレビュー)を、全教員を対象として実施することもしなかった。このことは反省点ではあるものの、近年の教員負担増への取り組みとして理解してほしい。一方、今年度も学生による授業アンケートで高評価の教員による模範講義を教員向けにビデオ配信を行い、さらなる向上へと繋がったと感じている。

今年度のFD研修会については、計2回の講習会を実施し、教員の更なる向上を目指すことに一役を担ったと考えている。

本報告書では、2024年度に実施した学部FD活動について報告する。本報告書が今後のFD活動のさらなる充実・発展の一助となることを祈念している。最後に、2024年度の本学のFD活動にご理解をいただき、また、さまざまな実施活動にご協力ご参加いただいた教職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

2025年 5月

2025 年度 明治薬科大学 FD 委員会
委員長 中舘 和彦

2024 年度 新任教員 講義ビデオ閲覧による自己評価

昨年度同様に、毎年行ってきた新任教員に対する自己評価は昨年度に引き続き今年度も実施しなかった。

来年度は、コロナ禍における講義方法対応やビデオ収録での評価方法をさらに検討した上で、新任教員の自己評価の運用が適切かどうかを再検討し、実施可能もしくは、実施した方が良いと判断できれば、新任教員の自己評価を実施する方針である。

この新任教員への対応として、次年度にWEBでの講義方法の案内と受講に関しての周知を行う予定である。他教員が新任教員の講義を閲覧し、その対策を講じるということから、さらに一歩進んだものへと改善する予定である。

2024 年度 第1回 FD 研修会

教員の皆様へ

日 付 : 令和6年9月30日
宛 先 : 教員 各位
発 信 : FD委員長 中舘 和彦
件 名 : 令和6年度 第1回 F D 研修会について

令和6年度第1回 F D 研修会について、お知らせいたします。
本年度の第1回 F D 研修会は、下記の日程で開催いたします。
なお、今回の研修会をご講演者様側の要望により、対面での実施となります。
また、研修会の収録もできないため、当日会場での参加をお願いいたします。

記

1. 日時 : 令和6年10月28日 (月) 14 : 00～15 : 30
2. 会場 : 講義棟103講義室
3. 対象 : 全教員 (非常勤講師含む)、産学連携・研究支援室職員 (その他事務職員については、自由参加)
4. 講演 : 警視庁公安部経済安全保障に関するプロジェクトチーム
5. 演題 : 技術流出の防止 (仮)



技術流出防止に関する啓発動画



リスク&
ケーススタディ編



対策編

技術流出の防止

～あなたに迫るリスク～



(協力経済産業省)

あなたは今、
経済安全保障上の**リスク**に直面しています。
あなたの会社や研究機関が狙われる『技術流出』のリスクパターンとは？

Case 01 サイバー攻撃による技術流出

先端技術を有する企業の社員のもとに、
実在する企業の営業を名乗る者から事業に関するメールが届いた。
幾度かのメールでのやり取りの後、添付されていた事業資料ファイルを開いた社員。
問い合わせのために電話を入ると、「そんなメールのやり取り自体していない」と返答された。
そして…。



Case 02 スパイ工作による技術流出

ある会社の社員が道端で、通りすがりの外国人に声を掛けられた。
以後2人は継続的に食事をする間柄に…。
しかし、この外国人は、周到に計画・準備をし、社員に近づいてきた情報機関員であった。
社員は巧みなスパイ工作を受け、会社の公開情報を複数回渡し、その度ごとに少額の報酬を受け取った。やがて、心理的な抵抗が弱まってきたところで要求されたのは…。



Case 03 経済・学術活動を通じた技術流出

ある大学の教授は、教授の研究に強い興味を持つという、女子留学生のゼミへの参加を許可した。
しかし、時間が経つにつれ、この女子留学生は、研究に関する秘密情報を教えてほしいと、次第に強く迫るようになる…。



『技術流出』に、どう対処すべきか？

3つのSを守ることで、リスクを軽減できます！

See

相手・書類をよく見る

Stop

立ち止まってリスクを把握する

Share

共有・相談する



この身近に迫るリスクには警察だけでなく、
皆さん自身による自主的な取組が必要不可欠
皆さんの大事な技術をともに守っていきましょう！

警察庁のホームページでは、
このようなリスクや対策について説明した動画を公開しています。
裏面の二次元バーコードから御覧ください。

2024 年度 第2回 FD 研修会

教員の皆様へ

日 付 : 令和7年2月12日
宛 先 : 教員 各位
発 信 : FD委員長 中舘 和彦
件 名 : 令和6年度 第2回 F D 研修会について

日頃より F D 活動にご協力頂きありがとうございます。
令和6年度第2回 F D 研修会について、お知らせいたします。
第2回 F D 研修会は下記の通りオンデマンドでの実施となります。

F D 研修は教員の皆様（非常勤講師含む）の受講が必須となっております。
お忙しいところ大変申し訳ございませんが、期日までに必ず視聴をよろしくお願いいたします。
視聴ログにより出席を確認いたします。

記

1. 視聴期間 : 令和7年2月12日（水）9:00 ～ 2月28日（金）23:59
2. 対 象 : 全教員（非常勤講師含む）
3. 講 師 : 株式会社学び 代表取締役社長 寺裏 誠司 先生
4. 演 題 : 学修効果を高めるインストラクショナルデザイン×アクティブラーニング
5. U R L : <https://my-cast.my-pharm.ac.jp/moodle2024/course/view.php?id=2598>



FD研修概要案



課題について

- 必修科目が多く、対面での授業展開が望ましいが、緊急事態宣言下では、オンラインの活用が求められる
- 実習は、対面で行うが、オンライン授業、反転授業などに対する懸念がある
- 対面重視しているが、オンラインで教育効果がある方法を模索する必要がある
- 対面とオンラインのハイブリッド型(ハイフレックス)授業を展開しているが、授業効果に不安が残り、出席確認が難しい
- 学生の評価が上がり、学修効果が見込めるオンライン授業の方法を取り入れる必要がある
- ZOOMではなく、TEAMSを活用しているが、TEAMSで効果が上がる方法はあるか
- オンデマンド、オンラインライブ、ハイフレックス、対面の効果的な組み合わせを検討したいなど



コロナ禍でのオンライン講義をさらに良くするための方法や学生との双方向などをテーマにしたオンデマンド型のFD研修を実施

- 60分程度のオンデマンド動画を作成する
- 8月20日より視聴いただけるように作成する
- ご質問等に対して可能な限りご回答する



タイトル、研修内容案

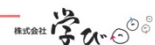
学修効果を高めるオンラインを活用した授業(仮)

1. コロナ禍で二極化した大学の授業と教員の意識
2. オンデマンド型、オンラインライブ型、対面型、ハイブリッド型(ハイフレックス型)授業のメリットとデメリット
3. オンライン授業で学修効果を高める技術
4. オンライン授業で学生を能動的にするアクティブ・ラーニング手法
5. オンライン授業のシラバス設計、インストラクショナルデザイン
6. Afterコロナ 大学教育の方向性

Confidential

©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.

Page-3



略歴

<略歴>

1987年4月 (株) リクルート 入社
2010年11月 (株) 学び 設立 代表取締役就任 ~現在に至る
2011年3月 (株) リクルート 卒業 リクルート進学総研 客員研究員就任
2011年4月 (学) 三幸学園 理事就任 ~2016年3月退任
2012年4月 (社) モチベーション・マネジメント協会 設立 理事就任 ~2016年3月退任
2015年6月 (社) アクティブ・ラーニング協会 設立 理事就任 ~現在に至る
2016年10月 (社) 大学支援機構 設立 理事就任 ~現在に至る
2018年10月 (財) ビジネス教育振興協議会 理事就任 ~現在に至る
2020年6月 (株) iLab 設立 取締役就任 ~現在に至る
2020年9月 (社) i Platform 設立 理事就任 ~現在に至る

<役職>

株式会社 学び 代表取締役社長
株式会社 iLab 取締役 一般社団法人 i Platform 理事
一般社団法人 アクティブ・ラーニング協会 理事
一般社団法人 大学支援機構 理事
一般社団法人 ビジネス教育振興協議会 理事
アクティブ・ラーニング認定ファシリテーター
株式会社リクルート 進学総研 客員研究員
大学非常勤講師

◇文部科学省委員関連

- ・専修学校双学位教育推進事業 有識者
- ・生涯学習推進課専修学校教育振興室委託事業審査委員
- ・専修学校による地域産業中核的人材養成事業 有識者



株式会社 学ハ
<https://i-manabi.co.jp/>

代表取締役社長
寺裏 誠司
stera@i-manabi.co.jp

名刺交換QRコード



実績

- ◆ 関東、東海、関西 120校以上の大学・短期大学の学生募集マーケティング、大学ブランディング、コンセプトメイキング、U・I・入試改革、学生募集メディアミックス、学生募集広報物作成、高校訪問戦略、オープンキャンパス戦略など戦略的
学生募集サポート業務。
- ◆ 大学新設支援 7大学、専門職大学設置支援 5大学、学部・学科増設支援実績 80以上
- ◆ 大学の進路指導、キャリア支援、教職員研修、授業強化研修、意識改革研修、など高校の強化コンサルティング業務
- ◆ 大学経営、運営(大学、短期大学、専門学校、高校、保育園)、コンサルティング会社経営、一般社団法人経営など
- ◆ 書籍・論文 : キャリア形成ガイドブック 共著 中央経済社、カリッジマネジメント152号「全入時代の学部・学科改革、学部・学科改編をどう進めるか〜学科分析からマーケット・トレンド〜」
カリッジマネジメント162号「学科のマーケット・トレンドと学部・学科開発」、カリッジ・マネジメント179号「全国・大都市圏・ローカル別20年間のマーケット・トレンドと学部・学科開発」、カリッジ・マネジメント190号「アベニティ・東京五輪の影響で
「学科のマーケット・トレンド」に基いた改革の方向性」、カリッジ・マネジメント195号「加齢する、都市部へのキャンパス(入用)再配置」、カリッジ・マネジメントWEB、モチベーション・研究所「大学組織のモチベーション・マネジメント」、私学経営「No.504未来予測
から見える私学の残された改革の方向性」No.547 定員割れ時代における私学の経営戦略」、大学事務組織研究「大学淘汰を加速する4つの外圧と大学の改革の方向性」、週刊エデュケーション大学特集、大学ジャーナルなど
- ◆ 主な講演・研修 : 大学経営者研修、大学教職員研修、FSDS講演、研修、専門学校教職員研修、高校進路指導協会講演、高校校長会講演、高校教員向け研修、大学生・高校生向けキャリア講演、
アクティブ・ラーニング導入研修、企業向けマネジメント研修、モチベーション研修、オンライン授業導入研修 300件以上など

Confidential

©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.

Page-4





2021年8月1日



会社概要

株式会社 学び
代表取締役社長
寺裏 誠司

Confidential

©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.

Page-5



高等教育機関の経営と教育を改革する「教育機関に特化した」コンサルティング会社

2021年8月1日

「ミッション・ビジョンに基づき、経営陣、教職員が一体となって学生の成長を第一義とした教育を推進する学校」それが、我々が理想とする学校像です。

高等教育機関には、まだまだ様々な「課題」があります。

「もっと高等教育機関を発展させたい」「もっと学生を主体的に成長させる教育とは」「もっと入口、中身、出口の改善をしたい」

「せっかく入学したのに退学……」「もっと働き甲斐のある組織とは」

そんな「課題」の本質をとらえ、「魅力」に繋いでいく。大学改革をサポートし、人材育成を活性化したい。

そのために株式会社学びは、高等教育機関を取り巻く環境そして学校独自の価値を理解した上で、課題の本質をとらえ、既存サービスの枠に囚われない、

高等教育機関にとって本当に必要なサービスを提供してまいります。

また、我々は、学校内部の視点と外部の視点両面を持っているからこそ、実際に利用しやすい形で提供することこだわったサービスを開発・提供をしております。

【弊社の教育機関向けコンサルティングの特色】

学校法人のコンサルティングは、実績と内部事情の理解が最も重要です。通常のコンサルティング会社は、一般的な正解を押し付けがちですが、弊社では学校法人に寄り添って伴走する形で教職員が主体的に行動できるようにサポートいたします。そのためサポート終了後も継続的な改革の推進が可能となります。

【5つの特色】

- ◆ 約 33 年に渡って350以上の大学、短期大学、専門学校改革を「外部の視点」でコンサルティングしてきた実績
- ◆ 60校の大学・短大・専門学校・高校の理事としての経営実績があるため「内部の視点」から学校事情を踏まえた改革が可能
- ◆ 2,500校を超える高等学校の支援実績から高校現場を踏まえた改革が可能
- ◆ 高等教育機関だけでなく、多数の企業コンサルティング実績
- ◆ 関連会社と連携したソリューションが可能

サービス概要



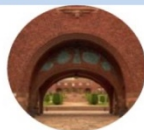
経営・教育改革
コンサルティング

実績 33年、350校以上



学校法人向け
研修・講演サービス

250件、30,000名以上



退学予防支援
サービス

退学低減実績校多数



大学設置、学部・学科
新增設改組サポート

大学8校 学部学科 80以上



アクティブ
ラーニング

導入実績 150校以上



オリエンテーション
プログラム

導入実績 60校以上



企業向け
人材育成研修

大手企業実績多数



psaパーソナリティー診断
コーチング

実績 30校以上

Confidential

©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.

Page-6





コンサルティング実績に関して

2021年8月1日

経営・教育改革、将来構想支援実績

- 大学法人:常翔学園(大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学)、近畿大学、龍谷大学、京都橘大学、南山大学、立教大学、神奈川大学、日本大学、青山学院大学、淑徳大学、芝浦工業大学、工学院大学、山野学苑、ソニー学園、神田外語グループ、尚網学園など多数
- 山梨県 高等教育機関の将来構想策定支援
- 専門学校:三幸学園グループ、麻生学園グループ、六吹学園グループ、敬心学園グループ、電子学園グループ、徳島健祥会など

直近では、龍谷大学さまのプラン400を策定

新設大学設置実績

- 電子学園 情報経営イノベーション専門職大学(2020年4月設置)を直近の実績例として33年間で8校設置
- 三幸学園理事として短大MA、大学学部設置、専門学校設置、園等の設置など複数の改革を推進

学部・学科の新設・改組実績

- 学部・学科の設置は、33年間で80以上

経営・教育改革実績

- 高等教育機関を中心として、33年間で350件以上

学校法人の経営・実績

- 三幸学園にて5年間専任理事として経営の実績 学園の経営改革を推進
東京未来大学担当理事、小田原短期大学担当理事、専門学校60校の経営実績、通信制高校の経営実績、園の経営実績

Confidential

©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.

Page-7

株式会社 学び



(株)学び 高等教育機関の経営・教育改革コンサルティング概要 1

2021年8月1日

サービス	カテゴリ	ソリューション名称	詳細	具体的な作業イメージ	成果物(イメージ)
コンサルティング	経営	経営課題の可視化	現状の分析を行い、経営課題を抽出し解決策の方向性を提示	中長期的経営計画の策定 ・SWOT分析 ・SWOT分析 ・SWOT分析	経営課題抽出シート ・経営課題抽出シート
		ブランドデザイン・中長期計画策定支援	ビジョン・ミッションを策定した状態でブランドデザインと、それを実現するための中長期計画を策定 ※必要に応じて、経営改革計画の策定も実施	ブランドデザインの策定 ・ブランドデザインの策定 ・ブランドデザインの策定 ・ブランドデザインの策定	ブランドデザイン報告書 ・ブランドデザイン報告書 ・ブランドデザイン報告書 ・ブランドデザイン報告書
		学部学科戦略策定・学部学科開発、計画立案支援 ※	教育・研究戦略を策定するための学部学科戦略の策定・マーケット・リサーチ・調査・調査の実施及び策定に向けた計画策定支援を行う	学部学科戦略策定の策定 ・学部学科戦略策定の策定 ・学部学科戦略策定の策定 ・学部学科戦略策定の策定	学部学科戦略策定報告書 ・学部学科戦略策定報告書 ・学部学科戦略策定報告書 ・学部学科戦略策定報告書
		周年事業 ※	周年事業の計画策定から実施までのサポートを行う。校友会からの寄付の促進を支援	周年事業の計画策定 ・周年事業の計画策定 ・周年事業の計画策定 ・周年事業の計画策定	周年事業計画報告書 ・周年事業計画報告書 ・周年事業計画報告書 ・周年事業計画報告書
	ミッション・ビジョン	ビジョン・ミッション策定	今後数十年先の将来を展望した上で、建学の精神を体現しているビジョンを策定 ※必要に応じて、建学の精神の策定(下記)も実施	ビジョン・ミッションの策定 ・ビジョン・ミッションの策定 ・ビジョン・ミッションの策定 ・ビジョン・ミッションの策定	ビジョン・ミッション報告書 ・ビジョン・ミッション報告書 ・ビジョン・ミッション報告書 ・ビジョン・ミッション報告書
		建学の精神再解釈・教育の理念再解釈	創設時の社会背景調査、周年誌の分析を通じて、建学の精神を現状に照らし再解釈し、教職員・学生・生徒の一体化を図ると同時に、ビジョン・ミッション策定(上記)の礎とする	建学の精神再解釈 ・建学の精神再解釈 ・建学の精神再解釈 ・建学の精神再解釈	建学の精神再解釈報告書 ・建学の精神再解釈報告書 ・建学の精神再解釈報告書 ・建学の精神再解釈報告書
		UIの策定・実施	UI/UX/UI/UXの実施およびロゴマークの開発などの実施 ※必要に応じて、UI/UX/UI/UXの実施(下記)も実施	UIの策定・実施 ・UIの策定・実施 ・UIの策定・実施 ・UIの策定・実施	UI報告書 ・UI報告書 ・UI報告書 ・UI報告書
		アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー策定	教育の理念に基づき、大学全体、学部・学科別にアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを策定 ※必要に応じて、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの策定(下記)も実施	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの策定 ・アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの策定 ・アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの策定 ・アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの策定	アドミッション・ポリシー報告書 ・アドミッション・ポリシー報告書 ・アドミッション・ポリシー報告書 ・アドミッション・ポリシー報告書
	入口(募集)	募集戦略策定	全学ビジョンを実現するために必要となる、募集戦略の策定 ターゲットとなる高卒生の定義、入試戦略、募集広報戦略の明確化	募集戦略策定の策定 ・募集戦略策定の策定 ・募集戦略策定の策定 ・募集戦略策定の策定	募集戦略策定報告書 ・募集戦略策定報告書 ・募集戦略策定報告書 ・募集戦略策定報告書
		広報コンセプト立案	募集戦略及びビジョン・ミッションに基づき、高卒生向け広報コンセプトの立案 ※必要に応じて、広報コンセプトの立案(下記)も実施	広報コンセプト立案 ・広報コンセプト立案 ・広報コンセプト立案 ・広報コンセプト立案	広報コンセプト立案報告書 ・広報コンセプト立案報告書 ・広報コンセプト立案報告書 ・広報コンセプト立案報告書
		教育・研究戦略策定	ビジョン・ミッションの実現のために必要となる、教育・研究戦略の策定、研究と教育の関連性整理、研究テーマの精選など ※必要に応じて、教育・研究戦略の策定(下記)も実施	教育・研究戦略策定の策定 ・教育・研究戦略策定の策定 ・教育・研究戦略策定の策定 ・教育・研究戦略策定の策定	教育・研究戦略策定報告書 ・教育・研究戦略策定報告書 ・教育・研究戦略策定報告書 ・教育・研究戦略策定報告書
		教育強化戦略策定	学生入学者数を増やす、アクティブラーニングの推進およびロジカルシンキング、モチベーション強化の推進を推進し提供し、学生の成長を支援を行う	教育強化戦略策定の策定 ・教育強化戦略策定の策定 ・教育強化戦略策定の策定 ・教育強化戦略策定の策定	教育強化戦略策定報告書 ・教育強化戦略策定報告書 ・教育強化戦略策定報告書 ・教育強化戦略策定報告書
	出口(人材輩出)	進学予防支援 ※	入学時点からの進学準備を特定し、欠点を洗い出し組み立て導入することで、進学準備の進学を予防するとともに進学防止戦略を策定する	進学予防支援の策定 ・進学予防支援の策定 ・進学予防支援の策定 ・進学予防支援の策定	進学予防支援策定報告書 ・進学予防支援策定報告書 ・進学予防支援策定報告書 ・進学予防支援策定報告書
		就職力強化・キャリア支援戦略策定	大学の就職支援、キャリア支援策の現状分析と強化策の策定	就職力強化・キャリア支援戦略策定の策定 ・就職力強化・キャリア支援戦略策定の策定 ・就職力強化・キャリア支援戦略策定の策定 ・就職力強化・キャリア支援戦略策定の策定	就職力強化・キャリア支援戦略策定報告書 ・就職力強化・キャリア支援戦略策定報告書 ・就職力強化・キャリア支援戦略策定報告書 ・就職力強化・キャリア支援戦略策定報告書
		大学生向けキャリア講演	これから就職活動を行う学生に対し、キャリア形成に必要な心構え、考え方を講演形式で伝える ※必要に応じて、キャリア講演の開催(下記)も実施	大学生向けキャリア講演の開催 ・大学生向けキャリア講演の開催 ・大学生向けキャリア講演の開催 ・大学生向けキャリア講演の開催	大学生向けキャリア講演報告書 ・大学生向けキャリア講演報告書 ・大学生向けキャリア講演報告書 ・大学生向けキャリア講演報告書
		就学生支援 ※	キャリアカウンセラーの業務保有者が就職支援WEB上で実施し就職支援を行うと同時に就職強化戦略を策定する	就学生支援の策定 ・就学生支援の策定 ・就学生支援の策定 ・就学生支援の策定	就学生支援策定報告書 ・就学生支援策定報告書 ・就学生支援策定報告書 ・就学生支援策定報告書

Confidential

©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.

Page-8

株式会社 学び



サービス	カテゴリ	ソリューション名称	詳細	具体的な作業イメージ	成果物(イメージ)
コンサルティング II	エンロールメント	キャンパス戦略	キャンパス戦略策定	高校生及び市場動向、大学が保有する資産と学部学科の分析を元に、キャンパス別コンセプト策定、立地及び所属学部に関するデザイン	・高校生募集計画(必要に応じ) ・全体及び学部別ビジョン策定 ・キャンパス別コンセプト策定 ・具体的方向性の検討
		キャンパス改革計画策定	上記ビジョン・戦略に基づいた、中長期、短期計画の策定支援	・キャンパス別コンセプト確認 ・現状課題及び解決の方向性確認 ・中長期計画の策定 ・短期事業計画の策定	・キャンパス別長期計画 ・キャンパス別事業計画
	支援業務 / インフラ	組織体制見直し	全体及び学部学科ビジョンを効率的に実現するための組織体制見直し検討	・現状組織体制確認 ・問題点の把握(ヒアリングなど) ・組織体制の検討 ・報告書作成	・組織体制図 ・組織別役割整理
		役割・権限見直し	現状組織体制における、役割・権限の見直し検討 組織体制見直しの場合、役割・権限見直しの検討も同時に実施する必要あり	・現状役割・権限の把握 ・課題抽出 ・役割・権限策定 ・新規役割・権限設定 ・運用ルールの明確化	・役割整理 ・権限整理
		業績評価制度導入	教職員がビジョン(実現)に向けた役割をきっちり果たしているかを、定量的に確認し、フィードバックするための業績評価制度導入 役割・権限見直しを行った場合には、本施策も同時に検討することが必要	・現状の業績評価制度確認 ・課題抽出 ・業績評価制度方針策定 ・各組織別役割の策定 ・各組織単位へのフィードバック ・評価基準の策定 ・運用ルール策定	・組織別業績評価基準 ・業績評価運用ルール
		教職員向け講演・研修	理事、理事会、教職員の現状把握及び意識改革を目的とした研修会の実施 教職員対象の場合にはアンケートを実施し、研修による効果測定及び今後の打ち手を明確化	・研修コンテンツ作成・確認 ・研修実施 ・アンケート調査・分析	・研修コンテンツ ・研修アンケート分析
		業務	業務効率化支援	現状業務の可視化を行い、重複や無駄な業務を明確化することで、スピーディかつ効率的な業務フロー及び体制を構築 中長期的な人材費削減にも効果	・現状業務フロー ・業務改善フロー ・改善実施状況報告書
	財務	財務分析アドバイザー	現状の財務状況の把握、分析及び将来の財務状況予測及び、アドバイスの提供	・事業計画把握、洗い出し ・財務分析 ・収益性分析	・財務分析報告書
		IT	ITコスト適正化	現状のシステム構成、稼働状況、ITベンダーとの契約を調査・分析し、コスト削減の余地を洗い出し、削減するための方法を提示	・現状システム調査 ・現状業務フロー確認 ・システムの見直し・必要機材 ・ITコスト適正化計画策定
		新規事業	新規事業立ち上げ支援	収益事業立ち上げに伴う事業計画策定支援。 市場分析及び本業とのシナジー分析、競合分析等を行い、事業計画書を取りまとめる。 必要に応じてM&Aのシナジーの作成。	・事業計画書 ・事業計画書 ・事業計画書
		企業連携	企業連携推進策立案支援	研究分野のみならず、教育、就職といった面で、トータルに企業と連携するための仕組み構築。	・連携推進計画 ・連携推進計画 ・連携推進計画
	その他	系列化	系列戦略策定	高大連携戦略、他大学連携戦略の策定 要否の検討から、具体的な実行計画の立案までトータルにサポート	・系列化の要否検討 ・系列化ビジョン策定 ・系列化シナジーの作成 ・実行計画策定 ・実行レポート
		M&A	統合・分割支援	大学統合、分割の要否検討及び、実行が決定した場合のデューディリジェンス及び実行計画策定	・M&A要否検討 ・統合シナジーの作成 ・デューディリジェンス ・統合計画策定 ・各機関別



テーマ別 コンサルティング実績例

コンサルティングテーマ	内容	実績数
大学・専門職大学新設支援	大学新設の方向性・コンセプト策定、ブランディング、募集広報戦略、募集広報実務など	7大学 5専門職大学
学部・学科改組、増設支援	学部・学科の方向性・コンセプト策定、ブランディング、募集広報戦略、募集広報実務など	60学部・学科以上
キャリア強化支援	キャリア正課授業・社会人基礎力授業・夏季特論(非常勤講師)、学生・生徒向け講演、就職課サポート	非常勤講師 2大学 講演 70大学・高校以上 就職課サポート 4大学
学校経営改革支援講演	大学経営者向けセミナー、専門学校経営者向けセミナー、大学・専門学校経営者向け、教職員向け、高校校長会講演実績	150講演以上
高校改革	経営会議サポート、ビジョン策定、教育の理念策定、教育の方針策定、授業強化研修、授業評価制度・運用、意識改革研修、校名変更、U I の実施、学生募集戦略策定、教育力強化制度の策定、などの改革	1高校
大学改革のための現状分析	各種調査、現状分析に基づく経営課題の抽出と解決策の提示	多数
大学経営計画の評価	大学で計画した経営計画を第三者視点で評価	3案件
大学経営改革サポート	大学の経営会議、理事会の改革サポート	11大学
グランドデザイン策定	中長期ビジョンを実現するためのグランドデザイン、戦略テーマの策定	11大学、2高校、1中学、1小学校
中長期目標・戦略・計画策定、事業計画策定	中長期および半年度の目標、戦略、事業計画の策定およびP D C Aサイクル	9大学 1高校
建学の精神再解釈	建学の精神の再解釈および言語化、映像化、浸透・共有化	14大学 1高校 2専門学校
ミッションの策定・言語化	建学の精神再解釈、ミッションの言語化、浸透・共有	16大学 1高校
ビジョンの策定	10年から20年後の在るべき学校像の策定、言語化、浸透・共有	16大学 1高校
教育理念の策定	教育の理念言語化サポート	8大学 1高校
アドミッション・ポリシー言語化	入学者受入方針、教育の方針、輩出人材方針の策定および、言語化	13大学、13学部
カリキュラム・ポリシー言語化	教育内容・方法の策定、カリキュラムMAP、カリキュラムの策定	
ディプロマ・ポリシー言語化		
エンロールメント・マネジメント改革	入口、中身、出口を一貫した理念に基づいて改革を実施	5大学
大学組織・人事制度改革	組織改革、人事制度設計、人材育成・研修実績	5大学
教職員研修	教職員の研修	33大学
財務戦略の策定	財政分析、財政改革のサポート	1法人
業務改革、改善サポート	業務意識、業務調査に基づく大学業務改革(B P R) 支援 強み弱み・価値の創出、競合優位性の策定、独自性開発、ブランドポジションの策定、コンセプトの策定、コミュニケーション戦略の策定、学内・学外コミュニケーション計画、U I (ユニバーシティ・アイデンティティ)の策定: M I * B I * V I)	2法人
ブランディング U I		ブランディング実績多数 U I 実績 多数 大学広報実績 多数
周年事業サポート	周年事業に関する計画、運営サポート、ブランディング	多数
大学広報戦略、学生募集戦略、計画、実施	大学広報戦略の策定、プロジェクトマネジメント、学生募集戦略の策定、実行のサポートおよび実務	120大学以上

2021年8月1日

Confidential

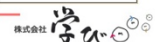
©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.



2021年8月1日

Confidential

©2010-2021 by Mangabi Co., Ltd.



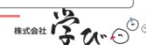


対象	研修・講演テーマ	研修・講演内容
教職員向け	ミッション・ビジョン・理念策定研修	経営陣を対象とした、建学の精神、教育の理念の再解釈、ミッション・ビジョン策定を支援するコンサルティング研修
	ミッション・ビジョン・理念・浸透研修	建学の精神、教育の理念、ミッション・ビジョンを解釈し全教職員に浸透する研修
	FD SD研修:危機感醸成研修	今後の大学を取り巻く環境を共有し、大学の現状と課題を整理し、改革を推進するための研修
	FD SD研修:改革推進研修	好循環型のエンロールメント・マネジメントについて学び、大学の改革を推進する主体者になるための研修
	オリエンテーション導入研修	オリエンテーションプログラムを新入生に導入するためのファシリテーター育成のための研修
	アクティブラーニング導入研修	アクティブラーニングの概要および効用理解とすぐ実践できるスキルを学ぶ研修
	退学予防研修、コーチング研修	退学の現状と対策、退学リスク&パーソナリティ・タイプ別の学生向けコーチング技術を学ぶ研修
	モチベーション・マネジメント研修	学校教職員のモチベーションをマネジメントするための経営陣を対象とした研修
	オープンキャンパス改善研修	オープンキャンパス診断結果に基づいて、課題を改善し、より良いオープンキャンパスを実現するための研修
	オンライン授業導入、強化研修	オンライン授業を効果的に導入し、教育成果を高める考え方、技術を習得する研修
学生生徒向け	新入生導入オリエンテーション研修	学校への帰属意識、同級生の仲間意識、意欲の醸成、欠席率の低下、退学率の低減、資格取得率の向上、就職の率の向上を目的とした導入研修
	主体性醸成研修	他責にせず、主体的に生きていくための態度を形成する研修
	モチベーション研修	自己のモチベーションをマネジメントし目標に向けて学び学生生活を送るための研修
	アクティブ・ラーニング研修	アクティブ・ラーニング型授業を取り入れるための導入研修
	PSAパーソナリティ育成研修	PSAパーソナリティ・タイプ別の学生向け人材育成型の研修
	オープンキャンパス・スタッフ研修	オープンキャンパス・スタッフを対象に学校の魅力の理解とコミュニケーション手法を学ぶ研修
	キャリア研修	社会のニーズ、人材のニーズを理解し、主体的に活動し、キャリアデザインを形成するための研修
	ロジカル・コミュニケーション研修	人とのコミュニケーションを行うためにロジカルに考えることができるようになる研修

Confidential

©2010-2021 by Manabi Co., Ltd.

Page-13



学生による授業アンケートで評価の高い教員の選出

本学では、毎年、全学的に「学生による授業評価アンケート」を実施しており、授業方法の改善と教育力の向上に役立てている。オンラインでのアンケートの回収率が50%以上の授業科目の総合評価及び学生の自由記述内容を参考に総合的な評価を行い、評価の高い教員と改善が必要と思われる教員を選出した。ただし、選択科目（外国語選択科目を除く）は履修者数が50名以上、外国語科目については40名以上の履修者数の科目を対象とした。

学生による授業評価アンケートで高評価を得た専任教員として、9名（専任教員5名、非常勤講師4名）の教員を選出した。また、高評価教員1名を学長特別表彰に選出した

学生ホールに教員名を公表するとともに、学長による表彰を行った。

また、一定基準満たさない改善を要する教員が今年度はいなかった。このことは、FD研修等の意義があったのではないかと考えており、次年度以降も高評価教員の増加とともに改善を要する教員が出ないようにしたいと考えている。

2024 年度 新任教員講義ビデオ閲覧によるピアレビュー(全教員対象)

例年行っている講義収録コンテンツによる自己評価で収録した教員の講義ビデオについて、同僚教員によるピアレビューを実施することができなかった。来年度はシステムを見直し実施する予定である。

2024 年度シラバス研修会

今年度も前年度と同様に、オンラインでの実施の目処が立たなく、シラバス研修会を実施できなかった。しかし、シラバス検討委員会を中心にシラバスの作成法の徹底等を行った。来年度は、教員のカリキュラムへの対応や統一性を図るため、実施する予定である。

2024 年度 FD 活動報告書

編集 2024 年度明治薬科大学 FD 委員会
中舘 和彦 浦辺宏明 川北晃司 兎川忠靖 山崎紀子
高野 麻子 飯田 克巳
山田 芳則
発行日 2025 年5 月 20 日 発行
発行 明治薬科大学
〒204-8588 東京都清瀬市野塩 2-522-1
TEL 042-495-8611 (代表)